



2015年 新年ご挨拶

スーパー連携大学院コンソーシアムwebニュース

2015年1月19日号

●2015年 新年ご挨拶

スーパー連携大学院コンソーシアム 会長
梶谷 誠



あけましておめでとうございます。

スーパー連携大学院が始動して5年目を迎えました。いよいよ、博士を目指す博士後期課程の学生も3年目を迎え、初の博士号取得者の誕生が期待されます。

文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」も4年目に入り、この事業の期間も残すところ2年間になります。

スーパー連携大学院は産学官が協力・協働してイノベーションを先導するリーダーを育成する試みです。北見工業大学、室蘭工業大学、秋田県立大学、電気通信大学、富山大学、大分大学の6大学の大学院がそれぞれの大学院生の中から、将来の日本、それぞれの地域の産業界のイノベーションの担い手とならんとする高い志を持つ学生を選抜し、特別な教育プログラムを受講してもらっています。

しかし、スーパー連携大学院が目指しているのは単なる人材育成、教育プログラムではありません。各大学が位置する地域の活性化と地域の活性化のリーダーとなり得る人材育成の一体化を目指しています。

バブル崩壊後の日本では、さまざまな格差が広がり、特に地方と都市圏のような地域格差が顕著になり、地方の疲弊が深刻になっています。これまで、国はさまざまな施策を実施してきましたが、必ずしも十分な効果は得られていません。現内閣でも、昨年度から地方創生を重要な政策課題に掲げて新たな手を打とうとしています。

我々は、グローバル化時代の今日では、地域の活性化はその地域だけで達成できないと考えました。それぞれの地域の自然、文化、伝統、産業など地域の特色、強みを他の地域のそれと組み合わせる新しい価値を生み出そうとする新しい発想が必要だと考えます。言うまでもなく、さらに海外との連携によってグローバルな発展を目指すべきです。

スーパー連携大学院は、それぞれの地域の地（知）の拠点としての大学を核に、地元の産業界、行政が一体となって課題解決に協働し、併せてそこに志の高い若者を参加させ、次代を担う指導者を育成するという二つの目的を同時に進行させようとしています。その際に、その地域の産学官の連携に留まらず、地域の枠を超え、全国に広がる特色ある地域同士の連携によってそれぞれの地域の特色を活かした新しい価値の創造を目指しています。さらには、国の枠を超え、グローバル時代にふさわしい問題解決と人材育成ができるように、全国的、世界的な連携のネットワークを活用する仕組みを構築しようとしています。

地方創生を目指すなら、どのような策を実行するにせよ、それを担うリーダーの育成なくして真に実りあるものにはならないでしょう。

自らの力を思い切り発揮したい人、自分の力で新しい世界を切り開きたい人、自分の力で日本を、人類を救いたい人、自分の力で社会を、世界を驚かせたい人、スーパー連携大学院に参加しませんか？スーパー連携大学院で学んで世界に飛躍してください。